

「この夏学んだこと」

3年 N.S

私はこの夏、エンパワーメントプログラムに参加しました。私は英語が本当に苦手で、このプログラムへの参加も母に強制されたものでした。だからプログラムの前から、言ってしまう参加が決まった時から憂鬱でたまりませんでした。

夏休みも終盤に近づいた8月のある日。私はエンパワーメントプログラムに参加する留学生の受け入れをすることになっていたのでもと共に出迎えるまでに行きました。家までの電車で私はほとんどなにも話せませんでした。学校でも英会話の先生と話すのさえ苦手な私にとって一対一で英語でコミュニケーションをとることが困難に思えて不安になりました。しかし、家では彼女が韓国人であったこともあり、気付けば自然と韓国の話やアイドルの話をするのが出来ました。それが本当に嬉しかったです。

エンパワーメントプログラムは月曜日～金曜日までの5日間、朝9時～午後3時までの日程でした。全て英語のみの内容で初日私はとても緊張していました。開会式で私達はリーダーの方に「You Can do it」「I can do it」と言われ、エンパワーメントプログラムがスタートしました。そして、それは私の憂鬱とは裏腹に、あっという間に終わり、気付けば5日間の日程が全て終わってしまいました。そして私は以前の自分とは少し違う自分がいることを実感しました。プログラムは全て英語で、グループで話し合ったり、グループリーダーのスピーチを聞いたり、毎日発表するスピーチを考えたり、短いビデオを見て意見を交換したり、内容は難しくても留学生の方の話す言葉も全てはわからなくて、でも本当にそれが“楽しい”と感じました。母国語でない言語を聞くこともしゃべること何もかもが本当に嬉しかったです。逆に痛感したこともあります。それは現時点での私の中の英語の限界です。ディスカッションでもスピーチ作成でも、日本語では自分の意見が言えるのにそれを何と英語にすれば良いかわからずとてももどかしかったです。今まで学んできた文法や単語も思ったように出てこず悲しくなりました。しかし、友人やグループリーダーなどが「You can do it」と何度も励ましてくれたり、一生懸命私の意見を聞いてくれて何とか自分の言葉にすることが出来たし、とても嬉しかったです。

この5日間、留学生の滞在期間を含めると一週間の日程は本当に充実した日々で、とても良い経験になりました。相手の国の言語や文化にふれることはとても興味深かったし、一緒にお話したり遊びに行ったことも大切な思い出です。そして何よりも達成感を感じました。プログラム前は“英語なんて絶対話せない”と悲観していたのに、プログラムを通して“英語で話すことは楽しい”と思え、“失敗してもまた挑戦しよう”とポジティブに物事をとらえるようにもなれたと思います。

これからの人生において、失敗してしまうこともあるかもしれないけど、あきらめず前向きに達成できるまで何度も挑戦していきたいです。このプログラムは私に英語に対する想いと物事のとらえ方、接し方を変えるチャンスを与えました。今回自分が学んだこと、自信がついたこと、達成できたことを来年また参加した時に活かして積極的に活動できたら良いなと思いました。また、そのために日々の英語や英会話にもしっかりと取り組んでいきたいです。